

## ニフティサーブを使った外国語勉強法

小樽商科大学企業法学科 町村 泰貴  
NAG02750@niftyserve.or.jp

1995年3月、フランスのリヨンにいた僕は、自室のノートパソコンからパリのアクセスポイントを通じてニフティサーブにアクセスした。フランス語の会議室を選ぶと、ちょうどミッテランの後継者を決める大統領選挙の最中らしく、ジャック・シラク(パリ市長)、エドワール・バラデュール(首相)、そしてリヨネル・ジョスパンの三候補の資産公開の様子が、文字情報で流れてきた。

Edouard BALLADUR

un appartement à Paris (1972) 800,000fr.      notre estimation: 6 millions.

Maison à Deauville (1978) 720,000fr.      notre estimation: 3 millions.

Chalet à Chamonix (1989) 3,2 millions de fr.

その他、農地と有価証券(4,5 millions)があつて、財産は22 millions超です。収入ははっきりしないのですが、納税額が958,578 fr.

パリのアパートの写真が出てますが、絵に描いたような上流階級のお部屋。映画に出てきそうです。白馬と人物が描かれた中国風の絵も貼ってあります。これは塞翁かな？

Jacques CHIRAC

Un appartement à Paris (1982) 720,000fr.      notre estimation: 3,7 millions.

Maison rurale à Ste-Féréole 評価額なし

Chateau de Bity,(1969) 200,000 fr.déclaré      notre estimation: 1,2 million.

1993年の課税所得 *revenu imposable* が1,919,451 fr. 納税額が934,026 fr. シャトーの写真はほれほれします。

Lionel JOSPIN

Patrimoine Néant

Revenu imposable 1993 608,870fr.

Impôt payé 91,322fr.

なんと清貧な。他の候補は代表的資産の前での写真が添えられていますが、ジョスパン氏の場合は、シラク、バラデュールと一緒にテーブルでメニューを片手にしながら、給仕に何かささやいている漫画。シラク、バラデュールがにやにやしているジョスパン氏の科白は、  
Euh... Vous acceptez les tickets resto??

5月、花が咲き乱れる季節にスコットランドのエジンバラにいた僕がバーミンガムのアクセスポイントからニフティサーブにアクセスすると、目出たく勝利をおさめたシラク新大統領の就任演説が流れてきた。

A l'heure où je parle, le résultat connu montre que vous avez décidé de me confier la plus haute charge de l'État.

J'exprime, j'exprime ma profonde gratitude à toutes celles et tous ceux qui m'ont accordé leur confiance. Et je salue tous les autres avec respect. Chers compatriotes, je serai le président de tous les Français.

.....

8月、うだるような暑さの東京で休暇を過ごしていた僕が東京のアクセスポイントからニフティサーブにアクセスすると、あのシラク大統領が強行した核実験について、反対派と容認派の様々な意見が戦わされていた。

そしてこの原稿を書いている今日、84 cm もの雪に閉ざされた北海道からアクセスすると、ミッテラン前大統領の死去のニュースが飛び込んできた。

これらはいずれもフランスの時事問題を取り上げる会議室の情景である。1993年から2年近くフランスに留学した僕は、ニフティサーブ<sup>1</sup>を通じて、日本との通信に事欠かなかった。フランスに住む日本人や大学関係以外のフランス人と知り合ったきっかけも、ニフティやフランスのネットでのメッセージの交換だったことが数多い。

留学の前もニフティからは有用な情報が得られた。留学の準備のための事務処理、特にフランス大使館でのビザ取得に必要な資料や滞在許可証を取得するのに必要な資料（ビザだけでは足りないのだ）をまんべんなくそろえることができたのも、ニフティの外国語フォーラムの参加者のみなさんのおかげである。留学先の情報、特にインターネットの利用可能性についての情報なども教えてもらった。もっとも僕の留学先にインターネットノードが出来たのは、帰国する直前になってからだったが。

大学で教えていると、ついつい忘れてしまいがちだが、世の中には実は勉強が好きな人が多い。色々な目的で様々な立場の人が外国語を学んでおり、パソコン通信の世界にもそうした人々が集っている。ニフティで外国語を扱う場は、外国語フォーラム、英会話フォーラム、翻訳フォーラムなどがあるが、このうち外国語フォーラムについて、何をやっているところか紹介してみよう。

### 〈外国語フォーラム・本館〉

外国語フォーラム(略称FL)は、外国語を学び、研究する人々の集まったフォーラムで、1987年の7月のニフティ発足と同時に開設された。現在は本館の他にロマンス語系の言語を集めたロマンス語派分館の二つに分かれている。それぞれの扱っている言語は、会議室一覧に現れている。表の項目は会議室の番号、それぞれの総発言数、最新発言の日付、そして会議室の名称である。

まず本館の会議室一覧を見てみよう。

<sup>1</sup> ニフティサーブは、日本の大手パソコン通信ネットワークの一つであり、電子メールや電子掲示板、CBシミュレーターと呼ばれる文字電話などのサービスと並んで、様々なジャンルのフォーラムと呼ばれる会議室・データライブラリ群が置かれている。

外国語フォーラム・本館の会議室一覧（'96. 1. 8 現在）

番号	発言	最新	会議室名
1	59	10/14	Announcements ●……FLM からのお知らせ
2	225	12/27	Information ●……FLM 情報センター
3	2108	12/30	Japanese & Ainu ●……日本語・アイヌ語
4	1512	01/07	Korean 1 ●……朝鮮（韓国）語【言語】
5	2122	01/08	Korean 2 ●……朝鮮（韓国）語【文化】
6	2399	01/08	Chinese Center ●……中国語☆語言中心
7	2171	01/08	Chinese Salon ●……中国語♪文化沙龍
8	1373	01/08	Asian Languages ●……アジアの諸言語
9	1421	01/03	English ●……英語
10	2374	01/08	Deutsch, Ndl. 1 ●……ドイツ語・蘭語【言語】
11	2717	01/08	Deutsch, Ndl. 2 ●……ドイツ語・蘭語【文化】
12	439	01/07	NE Languages ●……北欧の諸言語
13	3084	01/08	Russian & Slav. ●……ロシア語・スラブ諸語
14	279	11/21	Classical Lang. ●……古典語【梵・巴・他】
15	1155	01/06	Esperanto ●……エスペラント
16	751	01/06	Other Languages ●……その他の言語
17	182	01/06	Linguistics ●……Piazza Cosmopolita
18	1083	12/31	Technical Info. ●……技術情報
20	4971	01/08	Potpourri ●……ポプリ【談話室】

このうちドイツ語の10番会議室ではもっぱら言葉としてのドイツ語についての話題でメッセージが交わされている。例えば国名表記についての疑問から生まれた一連のやりとりを見てみよう。

01705 KARL-HEINZ KUDO RE: ビルマとミャンマー 95/07/19

die Ukraine がただの Ukraine になった経緯は知りませんがどうして冠詞が取れるようになったのか、理由ってのが気になりますね。ウクライナという言葉自体がロシア語で国境地方との意味を持つてるのですが、これと何か関係するのでしょうかね？

ヤンゴンですけど、先週だったかな、テレビの英語ニュースでレポートの最後に「フロム・ヤンゴン」とも聞きました。（私の英語聞き取り能力にもかなり問題があるのでヤンゴンに聞こえたのかもしれない。

01712 和田 大子 RE: ビルマとミャンマー 95/07/20

舌足らずな書き方をしてごめんなさい。ウクライナの冠詞を取ったのは英語（のジャーナリズム）です。独語はあるのではないのでしょうか。独語の場合は冠詞付きの国名はそれほどめずらしくありませんよね、だから独語は die Ukraine なのかなと、思いますが。英語でとったのは冠詞付きとそうでないのがでて混乱してたからなのかな。英語の場合冠詞付きは少な

いですから、フィリピンとオランダとほかに何があるのかな。

「ヤンゴン」と聞いたとのことですが、ありうるでしょう。先週の International Herald Tribune では Yangoon, Burma という dateline のニュースがありましたから、しかもこれ New York Times の記事ですから、あの NY Times がいい加減な書き方をするんですから、どっちでもいいんでしょう (^\_^)。今日三つ独語の新聞 (Neue Zuercher Zeitung, Suddeutscher Zeitung, Die Welt) をチェックしたら Yangoon も Myanmar も見あたりませんでした。ただビルマは Burma と Birma がありました。

01719    トラ    RE ^ 2 : ビルマとミャンマー    95/07/21

ドイツ語の国名は、中性名詞以外は冠詞が付きますね。国名で男性というのはあまり聞いたことがないのですが、女性や複数は割合多いようです。ウクライナは女性だから、やはり冠詞付きだと思いますよ。

01722    和田 大子    地名と性    95/07/21

なんだ、こういうトリックがあったんだ、と得した気分になりました。だって、ぼくの辞書、冠詞が付かない国名には固有名詞としか書いてなくて何にも性がないから、性がないものだと思ってました……でも、ひょっとしてと思い「使用上の注意」を読むときちゃんと書いてました。地名で性が書いてないものは中性、無冠詞だと。いい事を教わりました。どうもありがとうございます (^\_^)。

01749    トラ    RE : 地名と性    95/07/23

そうですね。普通、初級ではあんまり詳しくは言わないし (言ってもたいていの学生は冠詞の変化などを覚えるだけで手一杯だし)、わたしもいつだったか必要があって調べてわかった、という程度です (^o^;)。ただ、性がなければ、形容詞をつけるときに困りますね。男性の国名はあまりないと言いましたが、これはこちらの不勉強で、Iran や Irak は男性でした。これらについては定冠詞は、付けても付けなくてもいいようです。

01752    和田 大子    RE : 地名と性    95/07/23

ということは、国名に形容詞を付けるという機会を持たれたのですね。例えば「傲慢なフランスは、嫌いだ」、てな場合、Ich hasse ein arrogantes Frankreich. とでもゆうのかしらん。

01762    トラ    RE ^ 2 : 地名と性    95/07/25

むしろ Ich liebe das umweltfreundliche Frankreich ohne nukleare Waffen. と言いたいところですね。いずれにせよ当分フランスワインはおあずけです (^o^;)。

01721    KARL-HEINZ KUDO    Burma VS. Birma    95/07/21

ドイツ語の辞書には Birma と Burma の両方が載ってますが、Burma は英語からではないでしょうか？ (私の持ってる英和では burma は載ってるけど birma はありませんでした) どうも頭の中が蟹味噌状態で、Burma というどうしてもブルマ (bloomer) を連想してしまい

まして、いかなんです！

ドイツ語を習う前は英語の Burma は発音がしにくいなあと思っていたのですが、ドイツ語で Birma という事で、「さすがドイツ語だ」と感動した事があります。

01727 和田 大子 Burma VS bloomer / ビルマとブルマ 95/07/22

Burma と bloomer は実は語源が同じでラテン語の bruma (冬至, つまり短い日→短いズボン→ブルマ) から由来している……ということは、ないようです (^\_^;)。

Myanmar というのは現地語の国名でそれを英語化したのが Burma とランダムハウス英語辞典にあります。

bloomer は英語では bloomers のようですねえ。(ズボンが pants というのと同じ論理かな。)

Bloomer さんという女権運動家からついた名前のようにです。

独語の Hose は辞書を見ると単数, 複数両方で使われるようですが。ぼくの独英辞典によると bloomers は Pumphose とありますが……ポンプ・ズボンですか？

このやりとりは、インターネットで配信されているドイツのニュース DW Internet News vom 10.07.1995 の Internationales を KARL-HEINZ KUDO さんが単語帳付きで紹介し、これに和田さんが疑問を提起したところから始まっている。そしてトラさんも交え、ドイツ語の学習程度に差のある三人がそれぞれの知識を持ち寄って国名・地名の性と冠詞について、ユーモアを交えて話が進み、さらに他の話題に発展していった。このように一つの問題提起から話が様々な話題に発展していく姿はパソコン通信の特徴である。

言葉が中心の 10 番会議室の他に、ドイツの文化をメインとする 11 番では、さらにドイツ社会一般をめぐる議論が展開されている。中でも、ドイツやスイス・ドイツ語圏に留学したり旅行した会員のいきいきとした現地レポート、ドイツからのアクセス情報などは出色である。

FLM で取り扱っているのはもちろんドイツ語ばかりではない。前掲の会議室一覧にあるように、日本語やアイヌ語、朝鮮語などのアジア言語やスラブ系、北欧系、そしてエスペラントまでも含めて、情報交換と学習、交流が図られている。16 番のその他の言語というところになると、ヘブライ語、アラム語、グルジア語、アラビア語、洪 (ハンガリー) 語といったところが語られているのである。

#### <外国語フォーラム・ロマンス語派分館>

次に同じ外国語フォーラムで、一昨年できたロマンス語派の会議室一覧を見てみよう。

外国語フォーラム・ロマンス語派分館の会議室一覧 ('96.1.8 現在)

番号	発言	最新	会議室名
1	191	12/02	Announcements ●……FLR からのお知らせ
2	175	1/07	Information ●……FLR 情報センター
3	4400	1/08	Francais 1 ●……仏語【勉強会・読書会】
4	3909	1/08	Francais 2 ●……仏語【時事・社会】
5	9948	1/08	Francais 3 ●……仏語【生活・一般】
6	1748	1/07	Francais 4 ●……【CAFE DE CINEMA】

7	1971	1/08	CalvaCom ●……Soleil Levant
8	1738	1/05	Espanõl 1 ●スペイン語【言語・文化】
9	1623	1/08	Espanõl 2 ●スペイン語【生活・旅行】
10	1154	1/08	Português ●……ポルトガル語
11	3021	1/08	Italiano 1 ●イタリア語【言語・文化】
12	2098	1/08	Italiano 2 ●イタリア語【生活・旅行】
13	995	1/07	Classical Lang. ●……古典語【希・羅・他】
14	21	12/17	Romantic Lang. ●……その他のロマンス語
19	1154	1/08	Technical Info. ●……欧米系言語技術情報
20	862	1/07	Free Communi. ●……ラテンな部屋

これらのうちフランス語の会議室の中では、3番会議室がラジオ・フランス語講座を題材としたディクテで盛り上がっているほか、おなじみリュパンをはじめ、デュラス、コクトー、カミュ、ジュール・ベルヌなど、多彩な文献の読書会が続けられている。今進んでいるミラン・クンデラの読書会は、会員の一人が単語メモと簡単なコメントをアップして、これと一緒に読んでいる他の会員がさらにコメントをつけている。

04308 RIE 読書会 Kundera P 154-158 95/12/19

L'insoutenable légèreté de l'être (folio2077) 3-6

P 154 L 5 sectionner=切断する

L 8 claironner=かん高い声で話す

L 14 écoeuement (n.m.)=吐き気, 嫌気

L 16 déprimé(e)=落ち込んだ

L 22 diurne=昼の

L 22 nocturne=夜の

P 155 L 10 マリークロード (フランツの妻) いわく, スタンダールは夜の作家だそうですよ。ここにスタンダリアンはいたんだっけ?

L 23 furtif=ひそかな

L 25 infatigablement=飽きずに

P 156 L 25 troupe lyrique (n.f.)=歌劇団

P 157 L 3 interprète=主演俳優

L 17 en prime=おまけに

L 23 pendentif (n.m.)=ペンダント

フランツの妻の画廊で個展をやったことが、サビナとフランツの結びついたきっかけだったようです。マリークロード主催のパーティに呼ばれたサビナは、二人の中を怪しまれないようにパーティにやってきます。サビナのペンダントを「なに、それ。見られたもんじゃないわ」とくさすマリークロード。夫との仲を感じているのでしょうか?

フランツは、妻のぶしつけな行為は自分とサビナの力関係を見せつけるためだと解釈します (つまり、ばれてるとは思っていないわけです)。

04354 落合 卓 RE: 読書会 Kundera P 154-158 95/12/29

このあたり、フランスの妻 Marie-Claude と、娘 Marie-Anne の描写が面白いですね。妻の嫌なところにそっくりな娘ってのは、確かに、父親にとって、"sans espoir"なのでしょうね。

また時事問題を扱う 4 番会議室では、インターネットで得られるニュースのほか、衛星放送で受信できるフランス 2 の夜のニュース、それに Nouvel Observateur などの雑誌を題材に、ニュースタイトルの聞き取りや内容のディクテ、記事の紹介を肴にした論争が繰り広げられている。冒頭に紹介した大統領選挙の様子は、この会議室から引用した。

5 番会議室では、フランスの生活や文化一般について、質の濃い情報がアップされている。例えば、フランス留学中に現地で結婚した女性が、日本人同士フランスで結婚するときの苦勞をレポートしている。かなり長文になるが、フランスの法律の教科書では絶対得られない興味深い実態が描かれているので、あえて紹介しよう。

08915 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (1) 95/11/28 19:06

フランス方式の結婚（つまり、フランス人と全く同じ方法で結婚する）は、結構めんどうくさいです。まず、私たちの場合、日本人と日本人の結婚だということが前提にあります。つまり、フランスでは「外国人と外国人の結婚」ということになります。このとき、実は 3 つの選択肢があったのでした。

- 1) フランスにある日本大使館総領事部に、婚姻届を提出する（日本方式）。
- 2) 日本に住んでいるひとに頼んで、日本の役所に代理人として婚姻届を提出してもらう（日本方式）。
- 3) フランス方式で結婚する。

これからしばらくこちらで生活していく上で、3) が最も面倒がないだろうとの助言をうけ、フランス方式で結婚することに決めたのでした。

09070 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (2) 95/12/05

さて、6 月初め、フランス式で結婚することを決めた私たち。この時点ではのん気なもので、「戸籍謄本の法定翻訳を持って役所に行けば結婚できる（証人も連れて）」ぐらいに思っていました。しかし、雑誌〈Mariage〉の中に綴じ込まれていた小冊子〈Le guide pratique de votre mariage〉に、驚くべき実態が描かれていたのでした……。 「1ヶ月前」というところに〈Publication des bans〉（結婚公示）という文字を見つけ、あわてて「2ヶ月前」に逆戻り。ここに確かに「市役所に行って必要書類をもらってくる」と書いてあります。Publication をしないと結婚できない、Publication をするためには市役所で書類集めをしなければならない……。う～ん、そうだったのか。それにしても「2ヶ月前」って、もう1ヶ月そこそこしか時間がないんですけど（私の滞在許可証が切れる前に結婚したいのに）……。

09119 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (3) 95/12/07

翌日 Puteaux 市役所に行きました。「すみません。結婚のための書類が欲しいんですが」  
窓口のお姉さんは（このお姉さんとはこの後何度も顔を合わせる）書類を持ってきてくれました。1 枚目には Publication のために必要な提出書類が列記されています。

- 1: Extrait de l'acte de naissance (2: Certificat de Coutume)(3: Certificat de Célibat)  
4: Certificat de Domicile 5: Certificat prénuptial 6: Attestation sur l'honneur  
7: Liste de temoins

「ふたりともフランス人ではないのですね？ じゃ、1の出生証明書以外に2と3がいります。どの書類にも法定翻訳をつけなければなりません」

「は～、で、2ってなんですか？」

「これは、あなたの国の習慣（法律）によって、あなた方が結婚できる状態にある、ということを示すための書類です。大使館に訊ねてください。この書類が全部揃ったら、Publication しましょう。結婚の日取りはその時に決めましょうね。」

ええ～っ、結婚の日取りは役所のひとと相談して決めるのか（^^）、面白いぞ。

09192 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (4) 95/12/08

ちょっとどんよりしながら帰宅した私は、早速、日本大使館総領事部に電話をしました。

「私たちは日本人ですが、フランス方式で結婚したいと思っています。どうすれば良いのでしょうか？」

「まず、戸籍謄本を用意してください。それにのっって出生証明書を作ります。Certificat de Coutume はこちらで作りますし、Certificat de Célibat は戸籍をみれば独身だということがわかりますので、それもこちらで作ります。ただし、ですね。日本とフランスとの協定によって、この場合の戸籍謄本には〈アポステイーユ〉というものを付けなければなりません」

「はあ、何ですか、それ？」

「一種の但し書きで、日本でも〈アポステイーユ〉と言ってます。これは、外務省の大阪分室に行けば2日くらいで作ってくれると思いますよ。」

今度は大阪に電話です。母親相手にさんざん説明した挙げ句、謄本とアポステイーユをとってきてもらう算段をつけました。この書類が出来て、さらに日本から送ってもらうためには、当然10日近くかかります。

次は健康診断の手配です。この証明書も、当日「はい」ともらえるわけではありません。半日以上かかって、あれやこれやの検査をした結果は全く何の問題もなかったのですが、血液検査の結果が出るまで（当然）証明書は出ない。早くしてよとせっついて、フランスのこと。

「さあ、1週間以内にはなんとかなるんじゃないの？」

09394 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (5) 95/12/15

必要書類はなんとか揃いました。さて、役所に提出しよう……。

今度はEtat civil 係の責任者である女性が担当。一枚ずつ書類を確かめ、不備がないかどうかを調べていきます。「さ、書類は完璧です。良かったですね。じゃ、結婚式の日取りですが、いつが良いですか？」

「出来るだけ早く！！ それ以外の希望はありません」

「そうねえ、じゃ、7月28日でどうですか？」

ええ～。今日は6月30日でしょ。公示期間が11日でしょ。それだったら15日にはできるじゃ



ないの!!! と思いましたが、それ以上早くするのはちょっと難しいとの返事。では、とりあえずその日にちで……、ということていったん引き下がりました。

「じゃ、明日から市役所の前の掲示板に公示をしますから」

私の滞在許可証が切れるのが、ちょうど結婚式の日と指定された 28 日。これで本当に問題がないのか？ さらには、7 月 28 日という、ヴァカンスに入っているひとがたくさん。証人を頼んだ夫の会社の友人が、さて、パリにいるのかどうか？ あわてて会社に電話です。

「28 日になったんだけど、君（彼の友人・ひとり目の証人）も奥さん（二人目の証人）もここにいない？」

「え、28 日？ それだったらうちの妻がヴァカンス中でいないよ。他のひとに頼まなきゃやっぱいい〜。どうしょ。

09470 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (6) 95/12/18

28 日が式の日と決まったことを、相談にのってもらっていた法律事務所に告げました。

「そりゃ、ちょっとまずい。少しでも早くしてもらわなきゃ。」

違う町に住んでいるひと同士が結婚する場合、式を挙げる町からもうひとつの町に書類が送られ、こちらではその時点からの公示開始となります。つまり、ふたつの町の間タイム・ラグが生じるわけで、その結果、全体を合わせると最低公示期間 11 日ではすまないことになり、さらに Certificat de non-opposition が式を行う町に送られる時間があるので、総合すると、公示だけに最低 15 日はかかってしまうこととなります。書類を提出して 2 週間後に結婚式を挙げるのは、まず無理ということですから……。

それでも何とか日にちを繰り上げなければならない。

証人については、もうひとりの同僚に頼み、彼女の Fiche de l'état civil をとってきてもらいました。

09683 ^ = ^ Nao 【VIE】 Mariage (7) 95/12/27

私たちはまず、パリ 16 区役所に行きました。

「Certificat de non-opposition が欲しいんですけど」

「ありました。これですね。どうぞ持ってかえって」

今度は Puteaux 市役所で、窓口責任者のお姉さんが担当です。

「これが、16 区でもらってきた証明書です。これが Contrat de mariage です。で、彼女の滞在許可証が 28 日に切れるので、どうしても結婚の日取りを前にずらして欲しいんです。できませんか？」

「前って言ってもいっぱい、27 日ならあいてるけど」

結局、7 月末というのはヴァカンスに入っているひとが多く、これは役所でも例外ではありません。8 月になるとさらにひどくなりますから、結婚式をやってくれる日と時間帯も縮小されます。私たちの場合も、こういう事情が合わさってのこと……。結婚式は 7 月 27 日に決まりました。あとは当日を待つのみ。

ここで余談がひとつ。

Publication をすると、役所の前に氏名ばかりか、住所・職業まで張り出しになります。つまり、この「結婚公示」は、貴重な情報源になりうるわけです。公示をしてからしばらくす

ると、ダイレクト・メールがわさわさきます（ジュエリー関係、写真屋さんとか花屋さん）。電話での勧誘（物売り）もありました。

09909    ^ = ^    Nao    【VIE】 Mariage (8) 96/01/06

7月27日、曇天。役所での約束は11時。

少し早めにと行って家を出ます。ちなみに私たちの姿は……、夫はいつも会社に着て行っているスーツ（シャツは色付き、ネクタイは赤っぽい）、私は日本から持ってきた丈長めの水色のワンピース。

11時少し前に役所に着くと、イヴさんとクリスチーナさんは先にきて待っていてくれました。

さて、再度窓口へ。「今日の11時に結婚式をします」

「じゃ、そこから入って Salle de Mariage に行ってお待ちください」

私たちは揃って Salle de Mariage を目指します。どこの役所にもこういう結婚式のための Salle があるのですが、Puteaux のは素晴らしく立派でした。2階分ぶちぬきの大きなホール。天井画と壁画が、まるで古い美術館のようです。前にマイクをおいた机。向かいあって二脚の椅子（立派）、その後ろに教会の礼拝に使うような長椅子が何脚もならんでいます。

係のお兄さん（美形）が登場。「ちょっと待ってくださいね。先に音楽、かけます。」彼はなんと、ウェディング・マーチを部屋中に高々と鳴り響かせ始めたのでした。

充分待たされた後、副市長の入場です。側に書類を持った女性が立っています。開口一番。「遅れたのは私たちのせいじゃありませんからね。証人が変わったからですよ」

ここから式が始まります。まず、副市長が民法の結婚に関する条項（212条から215条）の extrait を読み上げ、その後「Monsieur Yasushi Kataoka, consentez-vous à prendre Mlle Naoko Arabe pour votre femme?」「Oui」

私にも同じ質問。答えも同じ。続いて脇に立っていた女性が、とうとうと Acte de Mariage を読み上げます。結婚するふたりの名前、住所、職業、両親の名前、住所、職業、証人の名前、住所、職業……。

「Alliance の交換をしましょう。前に出てきて」

副市長さんは私たちに指輪を手渡し、はい、あなたからと指示していきます。これで全行程は終わり。

副市長さんと夫は握手、私は頬キス（イヴさん、クリスチーナさんとも同じ）をした後、美形のお兄さんがカセットテープを持ってきます。

「これは今の式を録音したものです。あなたが持っていなさい、Madame。何かあったら夫に Oui と言ってる部分を聞かせてやるのですよ（笑）」

「いいなあ、あのカセットテープ。僕の時はあんなのなかったよ」

イヴさんは一時 jaloux になっていました。結婚まではこれで終わりです。

ここに描かれているのはフランスのいわゆる民事婚の方式だが、実際に手続きがどう進んでいくかが如実に現れていて興味深い。それにしてもフランスの窓口というのはどうしてどこも同じ対応ぶりなのだろう。

さらに特筆すべきことに、7番の「CalvaCom/Soleil Levant」という会議室は、フランス RCI

社が提供している通信ネット CalvaComII と提携し、フランス語による日仏オンライン交流を目指した場である。具体的にはフランスのパソコン通信ネット CalvaComII に Soleil Levant という会議室が設けられ、フランスの会員たちがそこにメッセージを送ると、ニフティサーブの7番会議室に転送されて読むことができ、逆にニフティの7番にアップされたメッセージは、フランスの CalvaComII の Soleil Levant に転送され、フランスで読むことができ、相互の交流が可能となっている。

このほか映画の評論家や研究者なども交えた CAFE DE CINEMA、フランス語以外にもスペイン語やイタリア語の会議室、欧米系言語技術情報などなど、興味は尽きない。

### 〈終わりに〉

ニフティサーブでは、外国語フォーラムのみならず、多数の専門分野に関係するフォーラムが存在する。コンピューター関係のフォーラムが多いのはもちろんだが、法律フォーラムや金融フォーラムというのもあり、文系人間にもそれなりに楽しめる場となってきた。

メディアとしてまだ未成熟なこともあり、研究に有用といえるかどうか、現段階ではまだ「？」だが、アメリカの状況をみれば、時間の問題であろう。既に電子メールは日本でも欠かせないツールとなりつつあるし、パソコンネットやインターネットを舞台とした研究会・研究発表もちらほら見られる。コンピュータ・ネットワークが実用的な存在になろうとしていることは間違いない。そして研究生活のみならず、教育のツールとしても、ネットワークが極めて豊かな可能性をもっていることが、外国語フォーラムの活動から読みとることができる。

今回は会議室システムでの情報交換の姿しか紹介できなかったが、このほかにデータライブラリとして、豊富なデータが提供されている。そこには、各専門分野ごとに便利なフリー・ソフトウェアやフリー・テキストが蓄積され、会員は自由にそれらをひきだして利用することができる。例えば Excalibur 2.1 という LaTeX/TEXT 用スペルチェッカー (FLR データライブラリ 6-25) があり、これに付属の辞書を用いれば、高価なワープロソフトに外国の辞書を購入して組み込むといった面倒をしなくとも、スペルチェックが無料で利用できる。辞書は米語が標準だが、英語、仏語、独語、伊語などがオプションで提供されているので、僕のようにフランス語作文に苦しんでいる者にとっては天恵である。他にも各国語の動詞活用練習ソフトなどもアップされており、興味津々である。

このようにパソコン通信やインターネットは様々な可能性を秘めた道具である。現段階での不備不都合は多々あるが、未熟なところがあるということはむしろ大きな可能性の存在を示唆している。これをどのように使っていくか、我々利用者の側で開拓していくべきものなのである。

### 参 考 文 献

江下雅之＝西東万里『通信ネットワーク快適生活術』メディア・テック出版 1995

武井一巳監修・ニフティサーブ快適アクセス研究会編『Niftyserve イエローページ, 96』夏目社 1996

(付記) 文中に挿入したメッセージおよびメニュー画面は、著作権者およびニフティサーブの転載許可を得たものである。また個々の発言には同じく許可を得た上で簡略にするなどの改変を加えた。他に引用・転載することは、原著作権者からの許諾がなければできない。